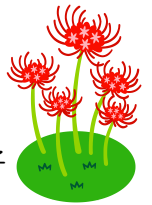


# 10月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年9月30日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」  
自ら学ぶ子・人とつながる子  
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子  
HP:shinmaizuru-maizuru.edumap.jp

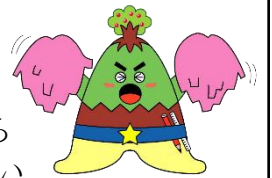


## 前向きに！熱く！



暑さ寒さも彼岸まで。今年の夏も酷暑が続きましたが、ようやく落ち着いてきたように感じます。その一方で、今、子どもたちは「熱く」なっています。いよいよ8日に迫った運動会に向けて、演技や競技の練習はもちろん、応援の練習、運動会の委員会活動にも熱心に取り組んでいます。今年は3年ぶりに全校児童が運動場に揃い、目の前でそれぞれの学年の「熱さ」を感じながら、演技、競技を応援します。保護者の皆様には、昨年同様3部に分かれての参観となりますが、どうかご理解いただき、お子さんの熱心に取り組む姿をご覧いただければと思います。

今年はタブレットを持ち帰って、動画を見ながら家でも練習に励んだ児童が少なくありません。きっとおうちの方に「いいね。」「よくなってきたね。」と声をかけていただいたのでしょう。運動会の練習に意欲満々で、もっと上手になろうと取り組む素敵な表情がたくさん見られます。苦手で、なかなか取り組みにくい子ども、何度も動画を見たり友達と一緒に練習したりすることで、少しずつ自信を付けてきています。少しできるようになると、もう少しがんばろう、と前向きになる姿が素敵です。



子どもたちは、2学期当初にそれぞれ目当てを立てました。その目当てを達成するためになんとか諦めずにがんばっています。おうちの方、地域の皆様には、子どもたちが前向きにがんばれる一言をかけてやってください。きっと「熱く」がんばる糧になります。

今年度も折り返しに。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。 校長 小森昌子

## 【令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について】（6年生）

4月19日(火)に実施した全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。国語は全国の平均正答率と同等、算数・理科は全国の平均正答率を上回る結果でした。今回の調査では次のような状況が見られました。

【国語】 全国平均と大きな差はありませんが、問題形式に目を向けると「記述式」の正答率が低くなる傾向が見られます。伝えたいことを分かりやすく書く。相手の意見のよさや、意見を聞いて感じた思いを書く。国語の授業を中心に「書くこと」に継続して取り組み、学習の基盤を鍛えていきます。

【算数】 全体的には全国平均を上回る結果でしたが「見積り」と「割合」に弱さが見られました。近年の出題傾向の1つに「日常生活の問題を解決するために考える」というものがあります。教科書の内容が「分かる」だけでなく、その知識を生活の中で「活用できる」ところまで力を伸ばせるよう、授業改善や宿題の工夫に取り組みます。

【理科】 多くの問題で全国平均を上回る結果でした。正答率が下がる問題はやはり「記述式」です。実験結果・観察内容を書いたり、結果を基に考察し、結論をまとめたりするなどの「書くこと」を意識し、今後も指導していきます。

【児童質問紙】 紙面の都合上、顕著な反応が見られた項目のみ記載します。

○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。」肯定的な反応:約85%(全国約77%)

●「自分にはよいところがあると思う」肯定的な反応:約72%(全国約77%)

子どもたちの回答から、日々前向きに学習している様子が見受けられます。しかし、そういった姿勢を自分の長所として捉えられていない様子も見られます。努力した経験を自信へとつなげられるよう、適切な指導を継続するとともに、認め、褒めることを今以上に心掛けていきたいと思ひます。